

和を成す社会をデザインする！マルチセクター座談会（第4回）

多拠点展開企業と自治体の「居場所づくり」の連携事例から学ぶ、 企業リソースを地域につなぐ共創プロセス

近年、コミュニティの希薄化などにより社会課題が一層複雑化しており、自治体等の公的セクターまたはNPOといった単独の主体では効果的に対応しきれない領域が増えています。他方で、自社事業による社会的インパクト創出に関心を寄せる企業は増えており、民間企業のリソースをいかに行政やNPO等の地域活動と橋渡しするかが社会課題の解決の鍵となっています。

地域のつながりの回復の一つの形として、こどもを含めた様々な住民が気軽に集うことができる**多世代交流の場としての「こども食堂」**などこどもの居場所の役割が注目されています。こどもの居場所は地域のにぎわいや防災など多様な機能を持つ存在ですが、こうした地域の居場所を持続可能なものとするためには、自発的な運営に頼るだけでなく、**セクター同士が連携して社会全体で支える仕組み**が欠かせません。

今回は、全国規模で生活用品の製造や販売事業を展開されている**アイリスオーヤマ株式会社**と、同社から提供された食材を中間組織を通じて県内のこどもの居場所に効果的に届ける仕組みを構築した**佐賀県**をお招きします。

全国展開する企業と自治体の双方から、出会いのきっかけや、県庁内や地域活動のニーズなど様々な調整の葛藤、そしてそれらを乗り越えて信頼関係を築いてきた共創プロセスをお話しいたします。

その上で、**セクターの壁を乗り越えるアイデア**を共に話し合い、明日からの活動を加速させるヒントを学びます。

【特にこんな方におすすめ】

企業の方：自治体や団体と協働したいが、企業にとってのメリットの整理や、企業が提供できる価値と真に望まれるニーズとのマッチングに悩んでいる。

自治体の方：地域に企業の力を借りたいが、企業との関係構築のきっかけや、企業の強みと地域のニーズをどのように橋渡ししたらよいか分からない。

NPO等の方：企業や行政と連携したいが、ニーズや考え方が分からず自力では具体的な関係構築が難しい。

実施日時

2026年2月9日（月）

15：00～17：00

会場

官民共創HUB 会議室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目1-3 磯村ビル3階
東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 徒歩1分

当日スケジュール

- 15:00-15:10 イベント趣旨とグラドルールの説明
- 15:10-16:05 事例紹介・質疑
テーマ 「全国展開する企業と地元行政との連携によるこどもの居場所づくり体験談」
スピーカー アイリスオーヤマ株式会社、佐賀県こども家庭課
- 16:05-16:45 グループワーク
※セクターが混ざったメンバー構成で、連携時の具体的な壁の乗り越え方を議論します
- 16:45-17:00 全体への共有・まとめ

お申込みはこちらから ※お申込み締切：2月2日（月）

以下の Googleフォーム、または右記QRコードよりお申込みください。
<https://forms.gle/PqjhsXwirejrhkKN6>



- ※こちらのフォームを送信していただいても、予約確定ではございません。セクター間の人数バランスを考慮の上、席を確保できた時点で予約確定メールを送信させていただきます。
- ※グループワーク等を通じた実践的な学びを深めていただくため、原則現地参加とさせていただきます。オンライン参加をご希望の場合は、下記問い合わせ先にご相談ください。
- ※本イベントの趣旨に鑑み、主催者と同業の企業様のご参加はご遠慮いただいております。
- ※チャタムハウスルール（発言者や内容について外部に非公開とする）を厳守のうえ、ご参加ください

お問い合わせ先：

一般社団法人官民共創HUB 川島・村上 (kawashima.k@chuo-nittochi.co.jp, murakami.t@chuo-nittochi.co.jp)
株式会社千正組 横山・小柳 (yokoyama@senshogumi.co.jp, koyanagi@senshogumi.co.jp)

